



Document type: Policy	Issue no.: 3	Decided date: 2023-06-13	ID no.: HOGANAS-1814020271-265
Valid for: Group			Position Issuer: Director Group Sustainability
Title: Environmental and Climate Policy (Japanese version)			Position Approver: Board

環境および気候に関する方針

Höganäsは、お客様から信頼される製品とソリューションで、世界一の持続可能な金属粉サプライヤーを目指し、お客様に好んで選ばれる会社になるべきと考えています。当社の製品は、環境と健康への影響、二酸化炭素排出量、資源効率、倫理的側面を考慮した責任ある方法で製造、お客様の変革に貢献し、持続可能なソリューションを社会へ提供します。

私たちは、バリューチェーンで¹温室効果ガス実質ゼロを達成するため、科学に基づく²気候目標を設定しました（ゆりかごから墓場までのスコープ1、2、3）。

私たちの生産設備は、高いエネルギー効率と非化石燃料による電力供給を特徴としています。2030年までに温室効果ガス実質ゼロを達成し（スコープ1と2）、2037年までに全バリューチェーン（スコープ1と2、3の上流工程）で実質ゼロを達成することを目指しています。私たち並びに社会の非循環型原料ニーズを減らすため、土壌廃棄するのではなく、副産物（例：鋳滓やフィルターダストなど）を利用し、再利用する方法を必ず探し出します。

私たちは、サプライヤーと協力し、バリューチェーンの上流工程でも、環境・気候変動の負荷を軽減し、気候適応できる変革を推進しています。当社の原材料は、気候変動への負荷を軽減させるべく、責任ある方法で製造・輸送されます。

私たちは、公的認証された環境・エネルギー管理システムに従って体系的に作業を行い、ビジネスを行う各国の法的要件を遵守します。私たちは予防原則を適用し、法的義務以上に可能な限りプラスの影響を与えるために継続的な改善に取り組みます。我々は環境や気候への悪影響を積極的に防ぐため、エネルギー使用量、廃棄物管理、製造方法、設備、水道・空調設備といった点から、環境へのリスクと影響を定期的にチェックします。

¹ 「温室効果ガス排出量実質ゼロ」では、生産された温室効果ガスの排出量と大気から排出された温室効果ガスの排出量のバランスが求められます。

² <https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/>



Document type: Policy	Issue no.: 3	Decided date: 2023-06-13	ID no.: HOGANAS-1814020271-265
Valid for: Group			Position Issuer: Director Group Sustainability
Title: Environmental and Climate Policy (Japanese version)			Position Approver: Board

私たちの製品の開発と製造は、生産性、循環性、気候適応の向上だけでなく、環境と人々の健康へのリスクの低減に基づいており、原材料や化学物質の選定する際のあらゆる意思決定に反映されています。

私たちは、バリューチェーン下流部でも、環境と気候適応を促進させます。

我々の製品やサービスによって、お客様の製造工程における資源効率向上とエネルギー使用量削減を可能にさせます。

当社は、有効な手順と手法に従って行動し、当社の価値観、原則、目標に従って判断できる、優秀な社員と経営者が集っています。